

◆ひらがなの書き順を覚えよう

<p>1 対象児童生徒（対象学級）の実態</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 中学2年生（知的障害、自閉傾向）。</li><li>◆ 言語による簡単な指示や指導内容の理解はできる。</li><li>◆ 活動を凝視されることや注目されている中での活動がとても苦手である。</li><li>◆ 絵筆やクレヨン等の描画は左手、鉛筆等の筆記は右手で行う。</li><li>◆ 対象物に数字を書けば、10個までの個数を数えることができる。</li></ul>
<p>2 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ ひらがなの読み書きができる。</li><li>◆ 10個までの個数を数えることができる。</li></ul>
<p>3 取組の中心となる教科・領域等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 国語、数学</li></ul>
<p>4 使用したアプリ、周辺機器</p> <p>動画</p>
<p>5 指導の経過及び児童生徒の変容</p> <p>【ひらがなの学習】</p> <p>動画の活用</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 教材の内容について</li></ul> <p>① 電子黒板に学習プリントを表示    ② 電子黒板上に文字を記入    ③ パソコンの画面をデジカメで撮影</p> <p>④ タブレットにデータを移行    ⑤ コマ送り等で表示し手本とする</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 経過等について</li></ul> <p>これまで、なぞり書きでしか書けなかった文字を、書写することができるようになった。 *書き始めに不安を感じているので、書き始めの始点を打つ支援は必要である。</p> <p>【個数の学習】</p> <p>プレゼンテーションソフトで、対象物をクリックすると、一定時間数字が表示する教材を作成した。これを、タブレットで遠隔操作し、タップすることによって数字が一定時間表示できるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 自由にタップし、数字が現れることを楽しむことから始めた。</li><li>◆ 表示時間を1秒に設定すると、順にタップして数えることができるようになった。</li><li>◆ 対象物を指差しながら、数唱ができるようになった。</li><li>◆ 口答はできないが、個数をほぼ正確に書けるようになった。</li></ul>
<p>6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 今まで学習してきた教材（学習プリント）をそのまま使用できたことが、効果的であった要因と考えられる。</li><li>◆ 動画を使用した教材では、特にアプリを使用しないため、どのタブレットでも活用できることが利点である。</li><li>◆ 個数の学習教材は、現在表示時間を1秒としているが、これから徐々に表示の秒数を短くし、より少ない支援で課題を達成できるよう展開していきたい。</li></ul>